

はじめに

島は海に囲まれ、狭隘性、脆弱性という特徴を持ち、そこには独自の自然、文化、社会経済システムが存在しており、「島はひとつの世界」と捉えることができます。また、地球温暖化や経済のグローバル化など、自然や社会環境の変動のうねりが小島嶼に大きな影響を及ぼしていることは、海水面の上昇が国土存亡の危機につながる南太平洋諸国の例からも明らかです。島は様々な環境変動の影響を強く迅速に受ける地域であるため、「島は世界の縮図」とも考えられます。つまり、世界が抱える様々な環境変動に対する影響を推察し、その適応策を提言する場所として、「島嶼」域は最適な地域といえます。

国際島嶼教育研究センター（島嶼研）では「島はひとつの世界」のテーマのもとに平成 26 年度島嶼研プロジェクトとして大隅諸島とミクロネシア連邦ポンペイ州を対象に、専任教員と兼務教員が参加し、学術総合調査を行いました。そして、大隅諸島調査については平成 27 年 2 月 23 日に報告会を行いました。

また、シンポジウム「島を結ぶ学びと連携－地元学と島嶼学の同時展開－」では動画サイトを利用しながら、各島々をつなぎ様々な問題について空間を越えて議論を行い、将来の島嶼の発展についての方向性を考えることができました。本シンポジウムは種子島において行う予定でしたが、台風が種子島を直撃する可能性が高くなり、急遽鹿児島大学において行いました。しかし、多くの方に参加していただき、参加者と各島々の方々の熱い議論が巻き起こり非常に有益なものとなりました。

本報告書はこれら研究とシンポジウムの成果報告書です。最後に本シンポジウムと調査は平成 26 年度学長裁量経費・研究コアプロジェクト（島嶼）－国内外島嶼地域における自立的発展に寄与する研究の推進－「環境変動に対する適応策の構築－地域・学際比較研究による提言－」の一環として企画され、その助成を受けて行われました。

2015 年 3 月

河合 溪

鹿児島大学国際島嶼教育研究センター長

大隅諸島学術調査報告会

島は一つの世界—大隅諸島総合調査—

平成 26 年度学長裁量経費研究コアプロジェクト（島嶼）報告会

日時：平成 27 年 2 月 23 日 13:00～16:00

場所：総合教育研究棟 5 階会議室

プログラム

- 13:00 鈴木廣志：昭和硫黄島に局在する *Xenograpsus* 属カニ類個体群と火山性噴気
- 13:10 藤田志歩：屋久島及び大隅半島におけるニホンザルの分布調査
- 13:20 濱田季之：南方系薬用植物および海洋生物由来の食虫毒解毒物質の探査
- 13:30 北村有迅：種子島に分布する四万十帯の構造地質学的研究
- 13:40 大塚 靖：大隅諸島でブユが媒介するフィラリアの調査
- 13:50 河合 溪：データベースから見た大隅諸島の科学系調査について
- 14:10 鳥居享司：屋久島におけるマグロ曳き縄釣り漁業導入による経済効果の分析
- 14:20 山本雅史：種子島における果樹栽培
- 14:30 山本宗立：大隅諸島における薬用植物
- 14:50 桑原季雄：種子島と屋久島の観光研究
- 15:00 升屋正人：口永良部島における情報通信基盤の現状と今後の整備可能性
- 15:10 佐藤宏之：近世種子島における気候変動
- 15:20 新里貴之：トカラ列島の無人島：横当島の考古学踏査
- 15:30 長嶋俊介：大隅諸島内集落の変動—開拓・移住・消滅・新生—



島を結ぶ学びと連携—地元学と島嶼学の同時展開—

鹿児島大学シンポジウム

『島を結ぶ学びと連携—地元学と島嶼学の同時展開—』

主催：学長裁量経費研究コアプロジェクト（島嶼）

共催：中種子町・鹿児島大学国際島嶼教育研究センター

日時：平成26年10月4日13:00～17:00

場所：総合教育研究棟5階会議室

中継：奄美サテライト教室・与論地域活性化センター・口永良部島

プログラム

13:00 開会

13:10 基調講演 石井正己（東京学芸大学）：薩南諸島で考える海上の道

14:10 全 京秀（鹿大・国際島嶼教育研究センター）：基調講演に対するコメント

14:35 長嶋俊介（鹿大・国際島嶼教育研究センター）：シンポジウム・テーマ解題

14:40 久米満晴（NPO タートルクルー）：海洋学校などの取り組み

14:55 遠藤裕未（なかわり生姜山農園）：農による地域づくりと発信

15:10 手塚賢至（屋久島生物多様性保全協議会）：種の多様性保全活動

15:25 貴船恭子（口永良部）：地域案内ビジネス

15:40 桑原季雄（鹿大・法文学部）：観光と文化人類学

15:55 升屋正人（鹿大・学術情報基盤センター）：島々を繋ぐ展開と情報工学

16:20 討論

17:00 閉会



鹿児島大学 島嶼コアプロジェクト シンポジウム

島を結ぶ学びと連携 参加無料

～地元学と島嶼学の同時展開～

主会場：中種子中央公民館2階ホール
副会場：鹿児島大学国際島嶼教育研究センター
中 継：鹿児島県内離島各所
日 時：2014年10月4日(土)13:00～17:00

基調講演 薩南諸島で考える海上の道
石井正己（東京学芸大学）
コメント 全 京秀（鹿児島大学国際島嶼教育研究センター）

シンポジウム
パネリスト 久米満晴（NPO法人タートルクルー）
遠藤裕未（なかわり生姜山農園）
貴船恭子（口永良部）
手塚賢至（屋久島生物多様性保全協議会）
桑原季雄（鹿児島大学法文学部）
升屋正人（鹿児島大学学術情報基盤センター）
長嶋俊介（鹿児島大学国際島嶼教育研究センター）

モデレーター 中種子町立高津

主催：鹿児島大学 島嶼コアプロジェクト（平成26年度学長裁量経費）
共催：中種子町立高津 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター
〒890-0055 鹿児島市中央1-21-24 E-mail: island@kag-u.ac.jp
中種子町立高津 電話 0997-27-1111